

平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月3日

上場取引所 東

上場会社名 USEN

コード番号 4842 URL <http://www.usen.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 公正

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 小林 陽介

TEL 03-6823-7015

四半期報告書提出予定日 平成26年7月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第3四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	52,456	3.3	8,209	21.9	6,897	24.1	5,503	29.9
25年8月期第3四半期	50,761	0.0	6,736	△7.7	5,556	△14.8	4,237	64.8

(注) 包括利益 26年8月期第3四半期 5,469百万円 (25.8%) 25年8月期第3四半期 4,348百万円 (68.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第3四半期	26.37	26.37
25年8月期第3四半期	19.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第3四半期	68,377	18,521	27.1
25年8月期	67,412	13,639	20.2

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 18,521百万円 25年8月期 13,639百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年8月期	—	0.00	—		
26年8月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,500	0.5	9,500	9.6	8,000	10.1	6,000	24.1	28.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年8月期3Q	207,148,891 株	25年8月期	207,148,891 株
② 期末自己株式数	26年8月期3Q	1,078,708 株	25年8月期	1,069,902 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年8月期3Q	206,077,304 株	25年8月期3Q	206,079,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、状況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足資料の入手方法について)

平成26年8月期 第3四半期 決算概況資料は、本日(平成26年7月3日)、当社ホームページで開示しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

(第2種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
25年8月期	—	—	—	—	—
26年8月期	—	—	—		
26年8月期(予想)				2,150,685	2,150,685

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自平成25年9月1日至平成26年5月31日）における我が国の経済は、金融・財政政策の効果が下支えする中、消費税率引上げに伴う駆け込み需要により個人消費が増加するなど、緩やかな回復基調にはあるものの、世界経済の下振れリスクや今後の消費税率引上げの影響により、景気の先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、当社グループでは更なる成長へと踏み出すべく、音楽配信事業を中心とした既存事業の更なる強化、新コンセプトによるマーケット開拓、顧客基盤を生かした新サービスの展開に取り組み、更に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の取り込みにも注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高52,456百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益8,209百万円（前年同四半期比21.9%増）、経常利益6,897百万円（前年同四半期比24.1%増）、また四半期純利益につきましては5,503百万円（前年同四半期比29.9%増）となりました。

当社グループの各セグメント別の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高を含む。）及び営業利益は以下のとおりであります。

<音楽配信事業>

音楽配信事業は、当社グループの事業の主軸であり、今後においても、その安定的な収益基盤の維持及び強化を図っていく必要があると認識しております。このため、業務店向け・個人向け市場における顧客維持、取引拡大及び認知度向上に向けた取り組みとして、引き続き以下の施策を継続してまいります。

- ①法人顧客（チェーン店市場）の販促、集客を支援する新たな放送端末の提案を強化
- ②生涯収益が高いと見込まれる新規オープン店に対し、需要の高いサービスを総合提案
- ③既存顧客に対するフォロー営業やCS向上施策による顧客数減少の抑止と長期利用の促進
- ④音楽の効能を打ち出したオフィス向け音楽放送「Sound Design for OFFICE」の拡販強化

また、新たな取り組みとして、昨年12月個人向け市場にスマートフォン用定額音楽配信サービス「スマホでUSEN」を投入、更に本年3月には音響機器のEC店舗「USEN ONLINE STORE」をオープンするなど新サービスを投入してまいりました。

その結果、音楽配信事業における当第3四半期連結累計期間における売上高は30,063百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は6,995百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

<業務用システム事業>

ホテル・病院・ゴルフ場等の業務管理システム及び自動精算機の開発・製造・販売等の業務用システム事業は、㈱アルメックス（連結子会社）が行っております。

当該事業においては、特に病院、ホテルにおいて機器の導入需要が高く、消費税率引上げや金融緩和による資金需給の改善等の要因も相まって製品、サービスに対するニーズは堅調であることから、新商品の市場投入や的確な営業戦略に基づき利益の最大化に努めてまいりました。

その結果、業務用システム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は12,585百万円（前年同四半期比15.2%増）、営業利益は1,711百万円（前年同四半期比76.8%増）となりました。

<ICT事業>

ICT事業は、法人向け回線販売事業やアプリケーションサービス事業を行っております。

当該事業においては、各企業におけるクラウド系サービスやデータセンターサービスに対する需要の高まりを受けて、以下の施策を実施してまいりました。

- ①回線利用顧客拡大のための新サービスの開発・投入
- ②顧客ニーズに応えるサービスラインナップの拡充
- ③豊富なサービスラインナップによるオフィス環境改善の提案営業

その結果、ICT事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は7,313百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益は577百万円（前年同四半期比38.7%増）となりました。

<その他事業>

その他事業として、業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を行っております。

集客支援事業においては、飲食店向け集客支援サービス「ヒトサラ」を展開しております。グルメサイト「ヒトサラ」は、シェフと料理に着目してお店とユーザーを結びつける新コンセプトのサービスを提供しております。また、本年3月にはiPhoneアプリ「favoreat」をリリースし、地元の食べたい料理を共有し、お店を探せるという新機軸からのサービスの提供も開始いたしました。

音楽著作権の管理、開発事業は㈱ユーズミュージック（連結子会社）が行っております。当該事業においては、音楽配信事業のより一層の発展に向け、楽曲プロモーション媒体を的確に提案・提供することで、レコードメーカー顧客との関係強化に取り組んでまいりました。

その結果、その他事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は2,586百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業損失は294百万円（前年同四半期は152百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ965百万円増加し、68,377百万円（前連結会計年度末比1.4%増）となりました。

(資産)

資産に関しましては、現金及び預金が2,245百万円増加したこと、また建物及び構築物が1,452百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ965百万円増加し、68,377百万円（前連結会計年度末比1.4%増）となりました。

(負債)

負債に関しましては、長期借入金が4,661百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3,916百万円減少し、49,855百万円（前連結会計年度末比7.3%減）となりました。

(純資産)

純資産に関しましては、四半期純利益を5,503百万円計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ4,881百万円増加し、18,521百万円（前連結会計年度末比35.8%増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,258百万円増加の9,835百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金の収入は12,597百万円（前年同四半期比14.5%増）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益を6,479百万円、減価償却費及びのれん償却額を5,222百万円計上したこと、仕入債務が1,148百万円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動による資金の支出は4,325百万円（前年同四半期比27.5%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得により資金が3,512百万円減少したこと、有形固定資産の除却により資金が687百万円減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動による資金の支出は6,013百万円（前年同四半期比19.2%減）となりました。その主な要因は、長期借入金の返済により資金が32,661百万円減少したこと、第1種優先株式の取得により資金が5,584百万円減少した一方、長期借入金の実行により資金が27,407百万円増加したこと、第2種優先株式の発行により資金が4,866百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の業績予想につきましては、平成25年10月7日付「平成25年8月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において通期の連結業績予想を発表しておりましたが、当第3四半期決算短信及び平成26年7月3日付「業績予想の修正に関するお知らせ」（以下「業績予想の修正」）にて、新たに通期の連結業績予想を開示しております。詳細につきましては、「業績予想の修正」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社における貯蔵品の評価方法は、従来、移動平均法によっておりましたが、期首から新たに当社の統合基幹業務システムを導入したことを契機に業務の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より、総平均法に変更いたしました。

当該会計方針の変更に伴い遡及適用した場合における過年度の連結財務諸表に与える影響は軽微であることから、期首から将来にわたり総平均法を適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,590	9,835
受取手形及び売掛金	4,991	5,123
商品及び製品	376	769
仕掛品	205	260
原材料及び貯蔵品	1,142	1,426
その他	4,307	4,068
貸倒引当金	△250	△268
流動資産合計	18,361	21,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,766	15,313
土地	21,232	21,231
その他（純額）	3,986	4,513
有形固定資産合計	41,985	41,058
無形固定資産		
のれん	3,693	2,697
その他	1,626	1,793
無形固定資産合計	5,320	4,490
投資その他の資産		
その他	6,842	6,707
貸倒引当金	△5,098	△5,094
投資その他の資産合計	1,744	1,613
固定資産合計	49,050	47,162
資産合計	67,412	68,377
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,157	6,499
1年内返済予定の長期借入金	5,020	5,040
賞与引当金	520	1,088
その他の引当金	489	452
その他	10,879	10,152
流動負債合計	22,066	23,232
固定負債		
長期借入金	27,301	22,620
退職給付引当金	2,831	2,764
その他の引当金	398	258
その他	1,173	980
固定負債合計	31,705	26,623
負債合計	53,772	49,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	66,116	6,000
資本剰余金	62,381	10,622
利益剰余金	△114,355	2,437
自己株式	△531	△534
株主資本合計	13,610	18,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	△3
その他の包括利益累計額合計	29	△3
純資産合計	13,639	18,521
負債純資産合計	67,412	68,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
売上高	50,761	52,456
売上原価	21,935	22,631
売上総利益	28,825	29,825
販売費及び一般管理費	22,089	21,615
営業利益	6,736	8,209
営業外収益		
産業廃棄物処理代	21	28
架線移設補償金	35	29
その他	109	78
営業外収益合計	165	136
営業外費用		
支払利息	767	615
借入手数料	361	601
その他	216	232
営業外費用合計	1,345	1,448
経常利益	5,556	6,897
特別利益		
投資有価証券売却益	214	201
その他	222	22
特別利益合計	437	224
特別損失		
固定資産除却損	567	606
その他	873	35
特別損失合計	1,440	642
税金等調整前四半期純利益	4,553	6,479
法人税、住民税及び事業税	609	833
法人税等調整額	△294	142
法人税等合計	315	976
少数株主損益調整前四半期純利益	4,237	5,503
四半期純利益	4,237	5,503

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,237	5,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	△33
その他の包括利益合計	110	△33
四半期包括利益	4,348	5,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,348	5,469
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,553	6,479
減価償却費	4,638	4,226
のれん償却額	996	996
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△229	13
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△117	△67
支払利息	767	615
投資有価証券売却損益(△は益)	△214	△201
固定資産除却損	567	606
借入手数料	361	601
売上債権の増減額(△は増加)	441	△132
仕入債務の増減額(△は減少)	△89	1,148
前受金の増減額(△は減少)	430	623
たな卸資産の増減額(△は増加)	△253	△732
その他	302	△134
小計	12,153	14,041
利息及び配当金の受取額	7	4
利息の支払額	△757	△608
法人税等の支払額	△405	△840
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,999	12,597
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,142	△3,512
有形固定資産の除却による支出	△709	△687
投資有価証券の売却による収入	295	311
その他	162	△435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,393	△4,325
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	27,407
長期借入金の返済による支出	△6,928	△32,661
優先株式の発行による収入	—	4,866
優先株式の取得による支出	—	△5,584
セール・アンド・リースバックによる収入	75	150
その他	△588	△191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,441	△6,013
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	165	2,258
現金及び現金同等物の期首残高	5,892	7,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,057	9,835

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額の著しい変動

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	66,116	62,381	△114,355	△531	13,610
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額(累計)					
優先株式の発行	2,500	2,500			5,000
四半期純利益(累計)			5,503		5,503
優先株式の取得				△5,584	△5,584
優先株式の消却		△5,584		5,584	—
自己株式の取得				△6	△6
自己株式の処分		△0		4	3
資本金から剰余金への振替	△62,616	62,616			—
欠損填補		△111,290	111,290		—
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額(累計)合計	△60,116	△51,759	116,793	△2	4,915
当第3四半期連結会計期間末残高	6,000	10,622	2,437	△534	18,525

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	音楽配信事業	業務用 システム事業	ICT事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	30,416	10,902	7,006	48,325	2,435	50,761	—	50,761
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	46	18	1	66	21	88	△88	—
計	30,463	10,921	7,008	48,392	2,456	50,849	△88	50,761
セグメント利益 又は損失(△)	6,326	968	416	7,711	△152	7,559	△823	6,736

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△823百万円は、セグメント間取引消去等であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、将来収益が見込めなくなった保有不動産等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては848百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	音楽配信事業	業務用 システム事業	ICT事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	30,013	12,566	7,312	49,893	2,563	52,456	—	52,456
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	50	18	1	69	22	92	△92	—
計	30,063	12,585	7,313	49,962	2,586	52,549	△92	52,456
セグメント利益 又は損失(△)	6,995	1,711	577	9,284	△294	8,990	△780	8,209

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△780百万円は、セグメント間取引消去等であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。